

# 目次

はしがき

序章 本書が明らかにしたいこと	1
第1節 私たちは政策終了について何を知っているのか	1
第2節 何を明らかにするのか	4
第3節 本研究の意義	6
第4節 本書の構成	7
第1章 政策終了をめぐるこれまで何が明らかになっているのか	12
第1節 政策・事業終了に関する先行研究	13
第2節 地方政治はこれまで何を主要テーマとしてきたか	18
第3節 地方政治の主要テーマを政策過程研究はどう捉えてきたか	19
第4節 残されている課題は何か	22
第2章 日本におけるダム事業をめぐる政策と改革	23
第1節 日本の河川政策の歴史的経緯	24
第2節 ダム事業をめぐる改革	34
第3節 ダムができるまで	49
第4節 まとめ	54
第3章 本研究における分析枠組み	56
第1節 本研究の問い	56
第2節 本研究の観察対象	67
第3節 本研究の議論の進め方	69

第4章 知事主導による終了事例	78
第1節 鳥取県	79
第2節 滋賀県	87
第3節 知事主導の終了事例への観察から明らかになったこと	107
第5章 職員主導による終了事例	109
第1節 岩手県	110
第2節 青森県	124
第3節 新潟県	143
第4節 職員主導の終了事例への観察から明らかになったこと	161
第6章 観察結果と22事例の比較分析による仮説の検証	163
第1節 終了を主導したのは誰か	163
第2節 終了のプロセスはどのようなものか	166
第3節 終了のプロセスに影響を与えたものは何か	169
第4節 例外事例が意味するもの	182
第5節 相互参照	184
補 論 職員の行動の謎を解明する	185
終 章 “撤退戦の民主主義” とは何か	192
第1節 本研究の3つの問いへの答え	192
第2節 課題と含意	195
第3節 地方政府が撤退戦を引き受けるのはなぜか、また、“撤退戦の民主主義” とは何か	200
初出一覧	203
あとがき	204
引用・参考文献	207
資 料	215
索 引	221

## 目次

図序-1	政策終了研究と地方政治研究における本研究の位置づけ	7
図序-2	本書の構成	11
図1-1	地方政治研究と政策過程研究における本研究の位置づけ	21
図2-1	時期別にみる河川政策の政策過程における主要アクター	33
図2-2	都道府県における再評価の主な流れ	37
図2-3	河川法の考え方の変遷	39
図2-4	工事や計画実施までの主な流れ	40
図2-5	治水政策におけるダム事業の考え方	52
図2-6	ダムができるまで	54
図3-1	地方政治研究と政策過程研究における本研究の問いの位置づけ	66
図3-2	本研究における相互参照の考え方	66
図3-3	本研究の観察対象の考え方1（機能、組織、政策、プログラム）	68
図3-4	本研究の観察対象の考え方2（終了プロセスの期間）	69
図4-1-1	〔鳥取県〕終了したダムの場所	79
図4-2-1	〔滋賀県〕終了したダムの場所	88
図4-2-2	滋賀県が示した芦谷ダムの治水安全度の考え方1 （ダムを先行させた場合）	95
図4-2-3	滋賀県が示した芦谷ダムの治水安全度の考え方2 （河川改修を先行させた場合）	95
図4-2-4	滋賀県が示した北川第1・第2ダムの治水安全度の考え方	99
図4-2-5	滋賀県の組織図1（流域治水政策室）	103
図4-2-6	滋賀県の組織図2（流域政策局）	103
図5-1-1	〔岩手県〕終了したダムの場所	111
図5-2-1	〔青森県〕終了したダムの場所	125
図5-3-1	〔新潟県〕終了したダムの場所	144

## 表目次

表 2-1	河川の種類とそれぞれの管理者	27
表 2-2	「ダム審」の結果	42
表 2-3	「総点検」の結果	43
表 2-4	「与党3党の見直し」の結果	47
表 2-5	「民主党政権下のダム事業の検証」の結果	48
表 3-1	終了プロセスの類型 1 (アクターの広がり)	59
表 3-2	終了プロセスの類型 2 (期間)	60
表 3-3	終了プロセスの4類型	61
表 3-4	都道府県の主なダム事業終了事例一覧	73
表 4-1-1	[鳥取県] 終了したダム事業	79
表 4-1-2	中部ダムの進捗	83
表 4-1-3	中部ダムの終了の経緯	86
表 4-1-4	[鳥取県] 終了プロセスの類型	87
表 4-1-5	[鳥取県] 終了プロセスに影響を与える可能性がある要因の状況	87
表 4-2-1	[滋賀県] 終了したダム事業	88
表 4-2-2	芹谷ダムの進捗	92
表 4-2-3	芹谷ダムの終了の経緯	97
表 4-2-4	北川第1・第2ダムの進捗	100
表 4-2-5	北川第1・第2ダムの終了の経緯	101
表 4-2-6	[滋賀県] 終了プロセスの類型	107
表 4-2-7	[滋賀県] 終了プロセスに影響を与える可能性がある要因の状況	107
表 5-1-1	[岩手県] 終了したダム事業	111
表 5-1-2	明戸, 日野沢ダムの進捗	114
表 5-1-3	明戸, 日野沢ダムの終了の経緯	115
表 5-1-4	黒沢, 北本内ダムの進捗	118
表 5-1-5	黒沢ダムの終了の経緯	118
表 5-1-6	北本内ダムの終了の経緯	118
表 5-1-7	津付ダムの進捗	121
表 5-1-8	津付ダムの終了の経緯	122
表 5-1-9	[岩手県] 終了プロセスの類型	123
表 5-1-10	[岩手県] 終了プロセスに影響を与える可能性がある要因の状況	123
表 5-2-1	[青森県] 終了したダム事業	125
表 5-2-2	磯崎ダムの進捗	130

表5-2-3	磯崎ダムの終了の経緯	130
表5-2-4	中村ダムの進捗	132
表5-2-5	中村ダムの終了の経緯	132
表5-2-6	大和沢ダムの進捗	135
表5-2-7	大和沢ダムの終了の経緯	135
表5-2-8	奥戸ダムの進捗	139
表5-2-9	奥戸ダムの終了の経緯	140
表5-2-10	[青森県] 終了プロセスの類型	141
表5-2-11	[青森県] 終了プロセスに影響を与える可能性がある要因の状況	141
表5-3-1	[新潟県] 終了したダム事業	144
表5-3-2	芋川ダムの進捗	146
表5-3-3	芋川ダムの終了の経緯	146
表5-3-4	中野川, 正善寺, 羽茂川ダムの進捗	149
表5-3-5	中野川, 正善寺, 羽茂川ダムの終了の経緯	149
表5-3-6	入川, 三用川ダムの進捗	152
表5-3-7	入川, 三用川ダムの終了の経緯	153
表5-3-8	佐梨川ダムの進捗	154
表5-3-9	佐梨川ダムの終了の経緯	154
表5-3-10	常浪川, 晒川ダムの進捗	158
表5-3-11	常浪川, 晒川ダムの終了の経緯	158
表5-3-12	[新潟県] 終了プロセスの類型	159
表5-3-13	[新潟県] 終了プロセスに影響を与える可能性がある要因の状況	160
表6-1	終了を主導したのは誰か	165
表6-2	終了プロセスはどのようなものか	168
表6-3-1	終了主導者と終了プロセスとの関係	170
表6-3-2	国の影響と終了プロセスとの関係	172
表6-3-3	反対アクターと終了プロセスとの関係	174
表6-3-4	進捗と終了プロセスとの関係	175
表6-3-5	分権進展と終了プロセスとの関係	177
表6-3-6	5つの要因候補からみた終了プロセスとの関係	177
表6-3-7	5つの要因候補からみた仮説の支持・不支持事例数(交互作用検討前と後の比較)	179
表6-3-8	5つの要因候補からみた終了プロセスとの関係(交互作用検討後)	180
表6-3-9	5つの要因候補の組み合わせと終了プロセスとの関係	181
表補-1	職員が住民の意見を聴取した理由	190
表終-1	地方政府の国への応答内容と該当する事例	198